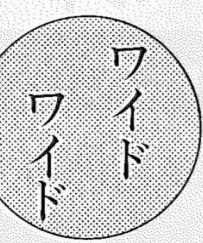


# 国民総スポーツの時代



「エコマーク」「目利き委員会Aランク」などの認定取得

エコクレイはリサイクル材を100%使用し高い透水性と保水性を維持



学校のグラウンドや公園、ゴルフ場などに導入が進んでいる

昭和57年3月、学校法人中央学校土木建設科卒業。4月新日本建設株式会社入社。昭和59年2月東和スポーツ施設株式会社設立、代表取締役に就任。現在に至る。京都府出身。昭和36年9月12日生、54歳。

## 使用目的に応じた配合で天然土以上の性能を実現

川谷 昭和59年の創業当時は、4年後に開催を控えた京都国体のための施設の新設が決まっており、施設の調査、研究を行いました。体育館や競技場含む)や体操場の建築物は主にゼネコンが作りますので、当社はターゲットをフィーラスポートームです。

——創業から今日までの経験についてお聞かせください。

川谷 昭和59年の創業当時は、4年後に開催を控えた京都国体のための施設の新設が決まっており、施設が注目を集めています。建設業を始めました。私が土木業を営んでいたこともあり、父と共に、スポーツの分野に特化し、建設業を始めた。私は、4年後に開催を控えた京都国体のための施設の新設が決まっており、施設の調査、研究を行いました。体育館や競技場含む)や体操場の建築物は主にゼネコンが作りますので、当社はターゲットをフィーラスポートームです。

——コストと工期の大縮短についてお聞かせください。

川谷 昭和59年に創業して、今では関西だけでなく関東にも普及、未利用資源の再利用による処分費用の削減と、天然土の保護にも貢献している。「エコクレイ」はNETIS(国土交通省新技術情報提供システム)への登録をはじめ、エコマーク

(昭和59年に創業)、スポーツ施設や学校のグラウンドなどの施工に特化している。近年、グラウンドに使用する土の確保が困難になり、2007(平成19)年に未利用資源を再利用する「エコクレイ」を開発、使用環境や用途に応じ、配合を変える適材適所主義を導入する。

既存土を全て入れ替えることなく施工することで、コストと工期の大縮短を可能にし、今では関西だけでなく関東にも普及、未利用資源の再利用による処分費用の削減と、天然土の保護にも貢献している。「エコクレイ」はNETIS(国土交通省新技術情報提供システム)への登録をはじめ、エコマーク

(昭和59年に創業)、スポーツ施設や学校の

グラウンドなどの施工に特化している。近年、グラウンドに使用する土の確保が困難になり、2007(平成19)年に未利用資源を再利用する「エコクレイ」を開発、使用環境や用途に応じ、配合を変える適材適所主義を導入する。

既存土を全て入れ替えることなく施工する

ことで、コストと工期の大縮短を可能に

し、今では関西だけでなく関東にも普及、未

利用資源の再利用による処分費用の削減と、

天然土の保護にも貢献している。「エコクレイ」はNETIS(国土交通省新技術情報提供システム)への登録をはじめ、エコマーク

(昭和59年に創業)、スポーツ施設や学校の

グラウンドなどの施工に特化している。近年、グラウンドに使用する土の確保が困難

になり、2007(平成19)年に未利用資源を再利用する「エコクレイ」を開発、使用環境や用途に応じ、配合を変える適材適所主義を導入する。

既存土を全て入れ替えることなく施工する

ことで、コストと工期の大縮短を可能に

し、今では関西だけでなく関東にも普及、未

利用資源の再利用による処分費用の削減と、